



### 13 キーワード探し

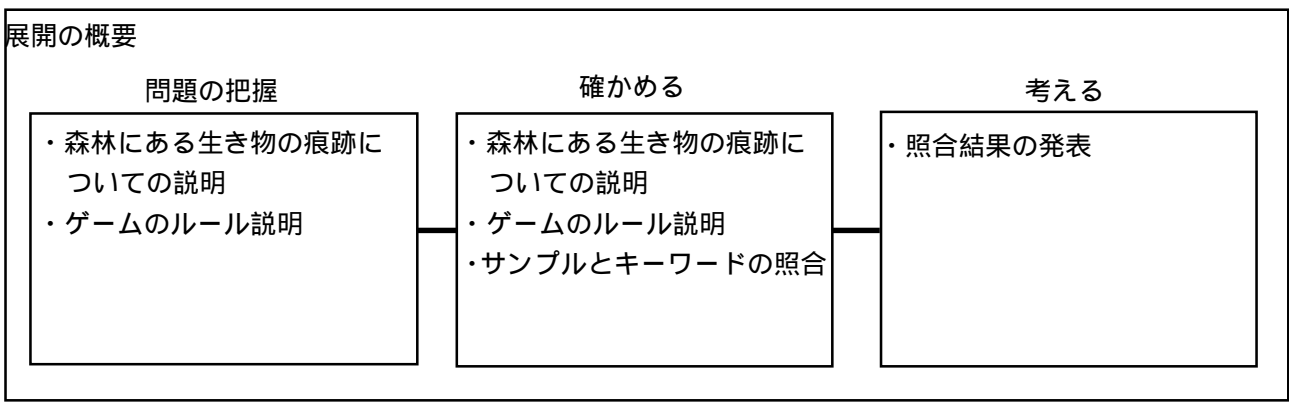
プログラムの目的 森林の生き物のくらしや相互のつながり、時間による変化を理解する

プログラムについて  
 森林で得られる様々な素材を基に推理をしながらキーワードを見つけだすゲームを通じて、森林の生き物の多様さや相互のつながり、時間や季節による変化を実感させる。室内でできるプログラムなので、教材を一度準備すれば、雨天時対応プログラムとして利用できる。

実施時期 教材があれば通年で実施可能                      実施場所 研修室などの室内  
 必要物品 堅果、球果、鳥の巣、蜂の巣、森林に人が捨てたゴミなど、森林で得られる生き物の痕跡や人との関わりで生じた事物、キーワードを書いたカード、封筒、菓子箱、筆記用具、メモ用紙

教材研究 と 準備

初 動 段 階	森林からの素材収集 素材の整理 仕分けと保管	 ホオノキの芽鱗   樹木の未熟種子  森林で見られる色々な素材を集めて保管しておく
内 容 づ く り	参加者数に合わせた提示サンプルづくり ヒントのための資料づくり 素材が得られた場所の写真や図鑑の準備 キーワードカードの準備 ビニールシート又は新聞紙の準備	
最 終 段 階	会場準備 最終打ち合せ・リハーサル	



注意事項

- 教材研究と準備に時間をかける。
- 巡視して個別指導を十分に行う。

## 1 教材と資料の準備

森林の動植物に関わる色々な事物を集めて、保管しておく。

- ・種子や冬芽、落ち葉や花など
- ・昆虫の食べあとやその他の痕跡など
- ・その他の小動物に関するもの
- ・キノコの仲間（乾燥させて保管する）

キーワード（昆虫・色々なタネ・木の芽・巣など）を書いたカードを作成する。

森林に関する本や図鑑、写真集などを準備する。

菓子箱に、集めた素材を無作為につめて、提示用サンプルとする（サンプルは班や人数に合わせて準備する）。

提示する素材は20種類以上準備したい。

## 2 活動の進め方

森林には色々な生き物がすんでおり、よく探すと、形のおもしろいものや、不思議なものがたくさん拾える。

これをたくさん集めておくと、おもしろいコレクションになる。

今日は、集めたコレクションの整理整頓を皆さんに手伝ってもらいたい。

サンプル・キーワード・図鑑を配付する。

キーワードにあてはまるものを箱の中から探して分類してほしい。



昆虫があけた穴



落ち葉



樹木の冬芽



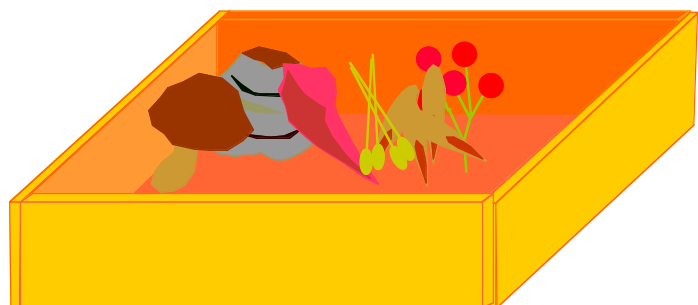
樹木の花（ヤチダモ）



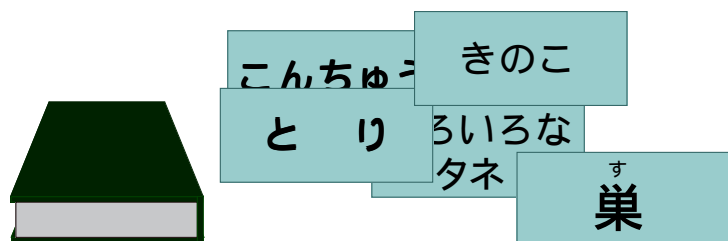
綿毛についた種（アキタブキ）



キノコ（タマゴタケ）



菓子箱などに、20種類以上の素材をつめて配付する



キーワードを書いたカードや文献を配付する

## 活動の概要

キーワードにちなんで、箱の中のもの  
を相談しながら仕分けさせる。

図鑑や資料などを見ても良いし、班  
の中で相談しながら、仕分けを行う。

指導者は巡視して適宜、個別指導を  
行う。

参加者に提示するサンプルとして以  
下のようなものが考えられる。

- ・ 昆虫が羽化した後の抜け殻  
(セミ・トンボなど)
- ・ 昆虫が巻いて落とした木の葉
- ・ カタツムリの殻
- ・ 虫こぶ (乾燥させておく)
- ・ ナナカマド、オオカメノキなどの  
木の実 (乾燥させておく)
- ・ ホオノキ、トドマツ、カラマツな  
どの球果
- ・ シカがかじった木の枝
- ・ キノコ類 (乾燥させておく)
- ・ ヤドリギ
- ・ 鳥の羽や古くなった巣
- ・ ハチの巣
- ・ 色々な樹木の花 (乾燥させておく)

日頃のフィールドワークで、これら  
を集めて保管しておく。

キーワードも工夫しておもしろい内  
容のものを考える。

### 3 まとめ

時間が来たら、仕分けの結果を班ご  
とに発表していく。

どうしても仕分けができなかったも  
のを出し合い、みんなで正体を考えて  
みる。

森林には色々な生き物がいて、それ  
らはお互いにつながり合ってくらして  
いることを話す。

## 教材について



抜け殻 (トンボ)



カタツムリの殻



巻かれている葉



虫こぶ



ナナカマドの実



ホオノキの果実



ヤドリギ



シカの食べ痕



鳥の古巣



キノコの仲間